



地区別ワークショップの開催について（案）

1 開催の目的

第2次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の2年目となる今年度は、東京大学高齢社会総合研究機構(東大IOG)との共同研究のもと、市民・民間事業者・大学等と「秋田市エイジフレンドリー指標」を活用しながら行動計画を点検するとともに、市民と企業等が連携し、地域の実情に応じた『地区別エイジフレンドリーシティ推進戦略』をまとめることで、恒常的にエイジフレンドリーシティの取組に関わる仕組みをつくることを目的とする。

2 具体的な内容

- (1) 今年度は、中央4地区（八橋・川元・泉・中通）を選定し、3回開催。指標を活用しながら市民や企業等の目線で行動計画を点検する。
- (2) 中央地区において「自分たちができること・やってみたいこと」を整理。
- (3) 市主導でなく、市民・企業等主導で『地区別エイジフレンドリーシティ推進戦略』をまとめる。
- (4) (3)の推進戦略は、エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会に報告し、市民等が恒常的にエイジフレンドリーシティの取組に関わる仕組みについて検討する。

3 ワークショップの参加者

- (1) 中央地区の生活支援コーディネーター4名 ※ファシリテーターとして参加
- (2) エイジフレンドリーパートナー事業者
- (3) 協議体のメンバーや民生児童委員
- (4) 地元大学の関係者
- (5) NPO関係者
- (6) あきた年の差フレンズ部の部員 等

4 ワークショップの流れ（予定）

- 1回目 第2次行動計画を「地区・住民・企業」の視点から意見交換および評価をする。
- 2回目 「地区・住民・企業」の視点から課題解決となるアイデアを出し合う。
- 3回目 『地区別エイジフレンドリーシティ推進戦略』をまとめる。